

Slovenia Monthly August 2023

スロベニア マンスリー

発行：在スロベニア日本国大使館 発行日：2023年9月11日



～8月の主なポイント～

外 政： 第18回ブレッド戦略フォーラムの開催
気象災害： 8月初旬の洪水による被害

8月初旬の洪水関連

●洪水発生【3日、4日、5日、6日】

8月3日の夜から6日にかけて、スロベニア全土で雨天が続き、特に3日夜から5日朝にかけて局地的な豪雨が降り、サヴァ川、サヴィン川、ムラ川等多くの河川が氾濫し、洪水被害が発生した。特に被害が大きかったのはスロベニア中部、リュブリャナの北西～北20キロ程度のシュコフィア・ロカー帯、メドヴォデ、カムニク等と、スロベニア北部、コロシュカ地方のドラヴォグラード、プレヴァリエ等で、同地方の渓谷に位置するチュルナ・ナ・コロシュケムは村に通じる道路が遮断され、一時孤立した。ゴロブ首相は、被害は国土の約3分の2に及び、被害額は何十億ユーロに上るだろうと述べた。また、ピルツ＝ムサル大統領は、「間違いなくスロベニアの独立以来最悪の災害」だと述べた。悪天候及び洪水の関連で6名が死亡した。

●自然災害復興法改正案採択【9日】

9日、国民議会は同改正案を全会一致で可決した。この法案は、今年1月1日以降に記録されたすべての災害に適用され、市町村が最も緊急性の高い修復工事を実施するために、最終的な被害査定と最終的な復旧プログラムが採択される前に、見積もられた損害額の最大40%を、国から自治体へ前払いすることを可能にする。

ビジネス部門への支援としては、雇用主に対する一時解雇補償金（給与の80%）及び従業員の欠勤に際した給与補償（給与の80%）のほか、自営業者にに対する助成金（月額1,000ユーロ前後）を措置した。

また、総額3億3,000万ユーロで基金の充実による企業の流動性確保、公的融資の返済猶予、事業実施期限の延長認定なども盛り込まれた。

農業分野での損害に対する支払いルールも改正され、例えば、農作物に保険をかけている農家は、デ・ミニマス・スキームに基づき、失われた農作物に対して100%の支払いを受けることが可能となった。

●フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長の被災地訪問【9日】

9日、フォン・デア・ライエン委員長は、洪水被災地を訪れた際にピルツ＝ムサル大統領と会談を行った。両者は、被災状況及び救援活動におけるEUの支援計画について情報交換を行い、気候変動との闘いを強化する必要性について強調した。さらに、ピルツ＝ムサル大統領は、欧州委員会の迅速な対応と連帯に対して謝意を表明した。

●EU連帯基金からの援助【9日、16日】

9日、フォン・デア・ライエン欧州委員会委員長はスロベニアの洪水被災地を訪問し、ゴロブ首相と会談した後、スロベニアがEU連帯基金から4億ユーロ（今年1億ユーロ、来年3億ユーロ）の援助を得ることを明らかにした。

16日、イエウシェク結束・地域開発大臣は、EU連帯基金からスロベニアの洪水復興のため最初の1億ユーロが10月末までに拠出される見込みだとし、この資金は公共インフラの被害救済に割り当てられると述べた。

●洪水による被害【10日、11日、23日】

10日、商工会議所(GZS)は、これまでに入手可能なデータによると、洪水は企業に約4億ユーロの損害(インフラ、設備、資材、収入減など)を与えたと発表した。

11日、メドヴェド国防副大臣は、同省の初期見積もりによると、400棟以上の家屋やその他の施設が全壊または居住不能となっており、そのほとんどがサヴィン川渓谷上流やコロシュカ地方北部に位置していると述べた。

電力・エネルギーインフラ(サヴァ川下流域の水力発電所、クルシュコ原子力発電所、ショシュタニ火力発電所、ヴェレニエ炭鉱)には大きな被害はなく、一時停止した設備もその後速やかに復旧した。

23日、スロベニア森林管理局は、林道インフラへの被害は過去最大であり、スロベニアの212市町村のうち67市町村で合計1,500キロ以上の林道が被害を受け、修復費用は5,000万ユーロと見積もられていると述べた。

●国外からの支援

EU、NATO加盟国や近隣諸国を中心とする15か国から、有人ヘリコプター、掘削機、特殊車両などの重機、組立橋などの機材の側面、工学的専門知識を有するスタッフ、重機のオペレーターなど人的側面、及び飲料水、ランプ、マットレス、毛布、長靴、土嚢、洪水防止フィルムなどの物資面での支援が行われた。

●連帯の日の演説【14日】

14日、ゴロブ首相とピルツ＝ムサル大統領は、連帯の日のメッセージの中で連帯を呼びかけた。同首相は自発的かつ心からの支援があれば目的は達成されると述べ、同大統領は泥にまみれてもスロベニアは輝いていると述べた。ファヨン外相は、救援活動を支援している外国軍隊の代表者とスロベングラデツの滑走路で会談し、かけがえのない援助に感謝し、この援助が忘れ去られることはないことを述べ、スロベニアは10か国以上から援助を受けており、その中にはヘリコプター、組み立て橋、水路周辺の清掃作業用の重機などが含まれていることを指摘した。

●洪水被災世帯の電気代を値下げ【16日】

16日、環境・気候・エネルギー省が電力供給会社と協力して考案した緊急措置により、被災した世帯は、8月から年末まで、1キロワット時あたり0.1セントまたは1メガワット時あたり1ユーロという割引料金で電気を購入できるようになり、平均的な電気代が60%近く安くなる。クメル環境大臣は、4,000から7,000世帯がこの制度の対象となると述べ、仮に5,000世帯が対象となった場合、その費用は約150万

ユーロとなり、これは電力供給会社からの寄付となる。

●洪水緊急救済法案及び補正予算案を採択【31日】

31日、国民議会は、壊滅的な洪水からの復興と援助を目的とした緊急法案と、資金調達を開始するために必要な2023年度の予算修正案を可決した。緊急法案には、被災した家庭を対象にしたもの、企業を対象にしたもの、市町村を対象にしたもの、公共インフラや水路の修復・債権及び洪水予防のための復興・予防対策が含まれる。また、同法案は復興基金への強制拠出金についても規定しており、企業の場合は税引き前利益の0.8%、個人は所得税の0.3%に相当する額が徴収される。拠出金を支払う代わりに2023年の土曜日と2024年の土曜日に労働を行うことも選択できる。

●洪水被災地で8例のレプトスピラ症が報告される【31日】

げっ歯類や家畜が媒介する可能性のある細菌性疾患であるレプトスピラ症の感染者が、8月に入り大洪水に見舞われた地域で8人確認された。感染者は全員、洪水後の清掃活動を手伝ったと言われている。

政治

【内政】

●345件の同性パートナーシップが婚姻関係に移行【2日】

2日、内務省は、1月31日に結婚の平等に関する法律が施行された後、スロベニアの市民登録簿に登録された同性パートナーシップのうち345件が、7月31日の期限までに婚姻関係に移行したと発表した。これは、家族法の改正により、690人がパートナーシップを結婚に変更したことを意味する。同性婚と養子縁組は、2022年7月に憲法裁判所によって即時発効で合法化された。議会は家族法の改正可決のために6ヶ月の猶予を与えられ、昨年10月に可決した。

●前保健大臣、国会議員に復帰せず【8日】

ベシッチ＝ロレダン前保健相は、政界に別れを告げるため、保健大臣辞任後は国会議員を務めないことを国民選挙委員会に伝えた(注:スロベニアでは議員と大臣は兼任できないため、大臣に選ばれた者は議員を辞職し、代わりに同じ政党から繰り上がりで議員が就任する形となっている。大臣を辞任した場合、議員に戻る事が可能である)。同氏は、委員会への書簡の中で、ゴロブ首相が辞任を求めた客観的な理由については知らされていないと述べた。

●7月の暴風雨への緊急対応で自治体に550万ユーロを割り当て【17日】

政府は、7月17日から25日にかけて相次いだ暴風雨に見舞われた151の自治体に対し、550万ユーロを割り当てた。この資金は、暴風雨をもたらした実際の被害ではなく、消防隊や市民保護などのサービスによる緊急対応の費用をカバーするものである。政府は、5月と7月初旬の暴風雨で、緊急対応に充てられる地域社会の予算がすでに空になっていたため、この資金を確保することを決定した。

●5月の豪雨による直接被害額は4,100万ユーロに上る【23日】

政府は、5月14日から23日にかけてスロベニア北東部で発生した豪雨、洪水、地滑りによる直接被害額の最終査定を4,153万ユーロと発表した。土木構造物への被害は1,506万ユーロ、農地への被害は1,085万ユーロ、水路の被害は1,020万ユーロとなった。建物への被害は約232万ユーロ、国道の被害は203万ユーロとなった。

●大統領がAGRAを開幕【26日】

26日、ピルツ＝ムサル大統領は、35か国から1,700社が出展するAGRA農業・食品見本市を開幕した。大統領は挨拶の中で、洪水後の復興を含め、持続可能な解決策を模索する上で農業が果たす重要な役割を強調した。農業は変化の阻害要因ではなく、進歩の促進要因であるため、農民は持続可能な解決策を見だし、気候変動に適応する上で主導的な役割を果たすだろう、と述べた。

【外政・防衛等】

●ピルツ＝ムサル大統領、各国大統領と気候危機を訴える【3日】

3日、ピルツ＝ムサル大統領をはじめとする沿岸諸国5か国（イタリア、クロアチア、ギリシャ、ポルトガル、マルタ）の大統領が気候変動対策を呼びかける共同声明を発表した。気候危機は「爆発的な規模」に達しており、政治的・経済的理由で妥協する時間はもうないと指摘した。

●スロベニア、最強パスポート・ランキングで順位を上げる【10日】

スロベニアは、毎年恒例のHenley & Partners社の最強パスポートランキングで、ラトビア、スロバキアと同じ9位にランクインした。スロベニアのパスポート保持者は、世界中の183の目的地にビザなしで旅行することができる。

●スロベニア、G7のウクライナ支援声明に参加【23日、25日】

23日、スロベニアは、G7のウクライナ支援声明に参加した。ファヨン外相は、声明への参加はウクライナへの更なる支援と同国への連帯の表明であり、声明に参加することで、スロベニアは「ロシアの侵略を非難するウクライナとの連帯」とウクライナの「主権、独立、領土保全への支持」を表明したと述べた。

25日、ゼレンスキー大統領は、ロシアの侵略と戦うウクライナを支援するG7首脳声明に参加したスロベニアに感謝を表明し、また、スロベニアとウクライナは、欧州大西洋地域全体の平和と正義に対する願いを共有しているとした。

●ミシェル欧州理事会議長のスロベニア訪問【27日】

27日、ミシェル欧州理事会議長は、リュブリャナ北部のカムニクの被災地をゴロブ首相とともに訪問し、8月初旬に発生したスロベニアの大洪水からの復興に向け、EUがスロベニアとともにあることを約束した。同議長は、欧州委員会がEU連帯基金から4億ユーロを拠出することを約束したことと言及するとともに、将来の自然災害に備えて国を再建する必要性にも言及した。

●第18回ブレッド戦略フォーラムの開催【28日、29日】

28日～29日、「世界安全保障のための連帯」のテーマの下、第18回ブレッド戦略フォーラム（BSF）が開催された。開会式では、ファヨン外相、ゴロブ首相及びミシェル欧州理事会議長が演説した。同フォーラムでは、EUの西バルカン拡大、気候変動による影響及び多国間主義等が議論の中心となった。BSFのメインセッションであるリーダーズパネルには、西バルカン諸国の首脳らが参加した。同フォーラムのサイドラインでは複数のバイ会談が行われ、ピルツ＝ムサル大統領はサンドゥ・モルドバ大統領等と、ゴロブ首相は、プレンコビッチ・クロアチア首相やクリシュトBH閣僚評議会議長、デンコフ・ブルガリア首相及びクルティ・コンボ首相等と会談した。ファヨン外相は、朴韓国外相等とバイ会談を行った。

●ピルツ＝ムサル大統領、アルプバッハで連帯と協力の重要性を強調【30日】

30日、ピルツ＝ムサル大統領は、ファン・デア・ベレン・オーストリア大統領の招待により、欧州フォーラム・アルプバッハに参加した。パネルディスカッションに参加した同大統領は、欧州における社会、安全保障、気候の課題に取り組む上での連帯と協力の重要性を強調した。また、極右イデオロギーの危険性についても警告した。同大統領はフォーラムの傍ら、ファン・デア・ベレン大統領と会談し、オーストリアにおけ

るスロベニア系の少数民族の権利について、さらに体系的に取り組む必要性を強調した。

●スロベニアとモンテネグロ、ベリン無人機の共同発注に合意【30日】

30日、スロベニアとモンテネグロの国防省の代表は、ベリン無人航空機システムの共同調達の基本となる、軍事偵察と空中監視・モニタリングの分野における協力に関する協定に署名した。これは、スロベニアが他国と政府間ベースで軍事武器・装備を購入する初めての協定である。スロベニア国防省は、モンテネグロ国防省に代わり、C-Astral社からベリン無人航空機システムを調達する。

経済

【エネルギー関連】

●ペトロール社、年内に102か所のスタンドにソーラーパネル設置へ【18日】

エネルギー・グループのペトロール社はペトロール・グリーン・プロジェクトの一環として、ガソリンスタンドの屋根に2基の太陽光発電所を設置した。年末までに102のスタンドの屋根に太陽光発電所が設置される予定である。太陽光発電所のピーク出力は5.25メガワットで、年間5,500メガワット時の発電を見込んでいる。

●次の暖房シーズンを前にガス供給は安定【23日】

最大の天然ガス取引会社Geoplinとガスネットワーク運営会社Plinovodilは、次の暖房シーズンを前にしたガス供給状況は、ロシアのウクライナ攻撃によって大きな不確実性が生じた昨年よりもはるかに安定していると述べた。卸売市場シェアの約75%を持つGeoplin社は、ガスの供給はスムーズに行われていると述べた。ガス輸入が滞っているのは年間計画に沿ってメンテナンス作業が行われている主要ガスパイプラインの一部のみであるとのこと。

【経済一般、指標・統計】

●7月の失業者数は2.4%増、前年同月比では依然13%減【3日】

7月の登録失業者数は、1990年以来最低を記録した数か月の減少傾向の後、前月6月比で2.4%増加し、失業者数は47,287人となった。前年比ではなお13%減である。登録失業者数の増加は主に有期雇用契約の終了によるものであり、7月の新規失業者数は4,985人と前月6月より24.3%増加した。

●6月の輸出は過去最高を記録【4日】

スロベニアの6月の商品輸出額は前年同月比0.8%増の53億ユーロとなり、月間で過去最高を記録した。統計局によれば、その結果、これまでで最高の

黒字となる6億7,100万ユーロを計上した。輸出額が過去最高を記録したのは、数量ベースでの輸出が前年同期比で減少したため、インフレの影響もあった。上半期の輸出額は前年同期比12.2%増の285億ユーロ、輸入額は同3.3%増の287億ユーロであった。

●2022年、スロベニア人の過半数が夏休みを海外で過ごす【6日】

昨年第3四半期に約210万人のスロベニア人が個人旅行を行い、そのうち64%が海外旅行であったことが判明した。アドリア海沿岸が最も人気のある旅行先であることに変わりはなく、国内観光客はスロベニアの海岸沿いや温泉地での宿泊が多かったと統計局は報告している。クロアチアは2022年7月、8月、9月に最も訪問された国で、海外個人旅行の69%を占め、ボスニア・ヘルツェゴビナ、イタリア、ギリシャ、セルビアが続いた。

●スロベニア、第2四半期のGDPは1.4%増【16日】

スロベニアの第2四半期の経済成長は加速し、GDPは、第1四半期の前年同期比0.8%増に続き、前年同期比1.4%増となった。輸入が8.3%減少したのに対し、輸出は0.7%の減少にとどまったため、輸出と非常に高い貿易黒字が成長を牽引した。一方、国内消費は5.4%減少した。

●6月の平均賃金、前月比減少、前年同月比増加【22日】

スロベニアの6月の平均賃金（グロス）は2,205.81ユーロで、5月より名目で0.1%、実質で1.5%減少した。一方、2022年6月との比較では、名目で9.9%、実質で2.8%増加となった。平均賃金（ネット）は1,431.61ユーロで、5月より名目で0.2%、実質で1.6%減少した。

●消費者信頼感が低下【23日】

統計局によると、スロベニアの8月の消費者信頼感は前月（2023年7月）に比べ1ポイント低下した。国の財政状況（3ポイント低下）、家庭の財政状況（2ポイント低下）における下落が原因。前年同月（2022年8月）比では5ポイント上昇した。

●景況感、2023年に入って初めて改善【25日】

年初来、景況感は低下傾向にあったが、8月は若干改善し、2023年に入って初めて前月比で改善した。企業景況感は-5.9%ポイントに達し、7月の数値を0.6%ポイント上回ったが、前年同月比ではまだかなり低い数値であることが、統計局の数値で明らかになった。

●7月の観光客宿泊数が過去最高を記録【25日】

スロベニアにおける7月の観光客到着数は100万人を超え、宿泊数は約300万泊に達し、それぞれ2022年7月より9.2%、9%増加し、7月としては過去最高の数字を記録したことが統計局の最新データで明らかになった。スロベニア人観光客の宿泊数の3分の1は海岸地域のものである。

●失業率、第2四半期は前年同期比で低下【28日】

統計局によると、スロベニアの第2四半期の失業率は、前期比0.2ポイント低下の3.6%となり、前年同期比0.6ポイント低下した。第2四半期に失業者として登録されたのは合計3万7,000人で、第1四半期に比べ2%減少、前年同期に比べ14.4%減少した。

●7月の小売売上高は引き続き減少【29日】

7月の小売売上高は4か月連続で減少を続け、前月比0.6%減、前年同月比16.3%減となった。

●2022年GDP成長率予測、実質2.5%に下方修正【31日】

統計局の発表によれば、2022年のスロベニアの国内総生産（GDP）実質成長率の予測値は、2.5%となり、当初の推定値（5.4%）から大幅に下方修正された。物価変動とインフレが主な原因とされている。

●8月の年間インフレ率は7月からわずかに上昇【31日】

統計局の発表によれば、スロベニアの8月の年間インフレ率は6.2%に達し、7月から0.1ポイント上昇し、昨年8月から4.8ポイント低下した。年間レベルでは、ほとんどの商品とサービスの価格が上昇したが、特に、食品・飲料の価格は10.4%上昇した。電力価格は年間レベルで13.1%下落した。

【企業・産業の動向】

●NLB、N Bankaの吸収許可を取得【3日】

スロベニア最大の銀行グループNLBは、欧州中央銀行（ECB）から、N Banka（旧スロベニア・スベルバンクの子会社）を吸収合併する認可を受けた。NLBによると、合併は9月初旬に完了する。昨年3月、NLBは、ロシアのウクライナ侵攻を受けてECBがスベルバンク・ヨーロッパの業務停止を命じた後、スベルバンクのスロベニア支店を510万ユーロで買収している。

●最大の観測衛星オペレーターがSinergise社を買収【15日】

リュブリャナを拠点とする地理情報システム（GIS）会社Sinergiseは、8月初めに、サンフランシスコを拠点とする地球観測衛星の最大手運営会社Planet Labを買収された。買収金額は明らかにされていない。

●オーストリアとの国境、マリボル-シェンティリ間に新鉄道区間が開通【15日】

オーストリアとの国境にあるマリボル-シェンティリ間の新しい鉄道区間が14日に開通した。マリボルとシェンティリを結ぶ18キロの鉄道線路の改良プロジェクトの一部として、ポチェホバとペスニツァ間の新しい3.7キロの鉄道区間が新たに完成した。すでに1,530メートルのペケル・トンネルと国内最長900メートルの鉄道高架橋ペスニツァ高架橋が開通している。

●ルカ・コペルの上半期純利益は23%減の3,200万ユーロ【24日】

港湾運営会社ルカ・コペルは、売上高が2%増の1億5,890万ユーロとなったものの、上半期の純利益は23%減の3,200万ユーロとなった。ルカ・コペル社は、この決算を好業績と評価する一方、ロジスティクスの状況は依然として複雑であると警告した。増収の主な要因は、コンテナへの詰め込み・積み降ろしサービスの増加、およびサービス価格の上昇であると同社は述べた。保管料収入は、商品が倉庫に保管される時間が短くなったため、前年同期より20%減少した。

●戦略的パートナーシップによりバイオマスの革新的加工を開始【29日】

戦略的開発とイノベーションのパートナーシップであるCircular EconomyとHelios TBLUS社とは、バイオマスをバイオベース樹脂とコーティング剤に革新的に加工するリアクターシステムのパイロットプロジェクトを発表した。この設備は、プロジェクトの全パートナーおよび他の企業が利用できる。投資額は32万3,000ユーロで、国が費用の半分、プロジェクトのパートナーが残りの半分の半分を負担する。

●スロベニアと韓国、協力覚書を締結【30日】

スロベニア投資促進庁（SPIRIT）は、経済協力の強化、新規投資の誘致及び貿易の促進を目的としたビジネスフォーラムにおいて、韓国商工会議所との覚書に署名した。スロベニアと韓国は、現在の協力関係には満足しているものの、特に自動車産業、エネルギー（特に原子力）、観光、ハイテクの分野でのさらなる発展を望んでいる。

●ゴロブ首相、ハイセンス社幹部と会談【30日】

首相府によると、ゴロブ首相は、スロベニアにヨーロッパ事業の本部を置く中国の多国籍企業ハイセンスの幹部一行と会談した。会談では、ハイセンスにとってのスロベニアの重要性と、同国における同グループの戦略的計画について話し合われた。

治安

●シュコフィヤ・ロカで強盗事件【19日】

19日午前9時過ぎ、シュコフィヤ・ロカのバスターミナルからスポドニェ広場方面へ向かう歩道で、16から18歳位の若い男2名が、被害者2名を殴打し、財布を奪って逃走した。犯人の内1名は腰に拳銃を差していた。被害者2名は軽傷を負った。

●ノボ・メストで傷害事件【21日】

21日午後10時頃、ノボ・メストのセイドロバ通りにある市営の自転車置き場で、4人組の犯人が自転車を盗もうとしているのを通りかかった46歳の男性が発見し、注意したところ、4人組の中の一人の男が注意をした男性を殴って重傷を負わせた後、盗もうとしていた自転車を置いて現場から逃走した。

●不法移民、増加の一途【23日】

警察は、2023年1月から7月にかけてのスロベニアへの不法入国記録数が、2022年の10,103件から26,871件へと大幅に増加したと明らかにした。主な入国地は依然としてクロアチアであり、阻止されたケースのうち25,431件を占めた(2022年は8,330件)。クロアチアからスロベニアに不法入国した外国人のトップは変わらずアフガニスタン人で、その数は2022年の1,592人から5,385人に増加した。

●リュブリャナで強盗未遂事件【27日】

27日午後11時30分頃、リュブリャナのポリヤンスカ通りで、自転車に乗った犯人が背後から女性に近付き、女性が手にしていた財布を奪おうとして女性を転倒させた。その際、犯人も転倒し、犯人は何も取らずに現場から逃走した。

社会・文化・スポーツ

【スポーツ】

●フットゴルフ:国際連盟会長にスロベニア人が就任【1日】

国際フットゴルフ連盟(FIFG)の新会長にスロベニア人のアレクサンダー・クラバーニャ氏が、アメリカ人のラウラ・パレストリーニの後任として任命された。スロベニアにおけるフットゴルフのパイオニアの一人である彼は、これまでに2年間FIFG副会長を務めており、今後4年間の任期を務める。

●自転車:ツール・ド・ポロ・ニュで優勝【4日】

スロベニア人サイクリストのモホリッチ選手が、第80回ツール・ド・ポロ・ニュで、ポルトガル人ライバルのアルメイダ選手に1秒差をつけて優勝した。これはモホリッチにとって、複数ステージの自転車レースで4度目の総合優勝となった。

●クライミング:ボルダリングで世界チャンピオンに【5日】

オリンピック・チャンピオン、ヤニャ・ガルンブレット選手がクライミング世界選手権のボルダリングで金メダルを獲得、この種目で2018年、2019年に続く3度目、通算7度目の世界チャンピオンのタイトルを獲得した。彼女は4つのボルダリングを1回目のトライですべて登った唯一の選手として金メダルを獲得した。

●自転車:UCI世界選手権のロードレースで銅メダル【6日】

スロベニアのポガチャル選手が、イギリスのグラスゴーで開催されたUCIロード世界選手権の男子ロードレースで銅メダルを獲得。スロベニア人にとって、UCIロード世界選手権のロードレースで獲得したメダルは、22年前のリスボンでハウプトマンが獲得して以来、2個目のメダルとなった。

●クライミング:世界選手権で銀メダル【6日】

IFCSクライミング世界選手権の女子リードで、ガルンブレット選手が銀メダルを獲得した。同じくスロベニア人のクランプル選手は惜しくも4位。決勝で壁の頂上に到達することができたのは日本の森選手とガルンブレット選手だけで、準決勝でのアドバンテージを生かした森選手が優勝した。

●壊滅的な洪水の被災者を支援するアスリートたち【7日】

バスケットボールのスーパースター、ドンチッチ選手をはじめとするスロベニアのアスリートたちが、スロベニア史上最悪の洪水で被災した人々を支援している。ルカ・ドンチッチ財団は、「あらゆる方法で支援することを約束する」と発表した。洪水で被災した人々への支援は、自転車のモホリッチ選手も行っており、直近では4日に開催されたツアー・オブ・ポーランドで総合優勝した際のその賞金を洪水救済活動に寄付することを発表した。

●バスケットボール:NBAチームにスロベニア人コーチが就任【10日】

スロベニア人元バスケットボール選手のベノ・ウドリ氏が、ミルウォーキー・バックスのNBA・Gリーグ傘下ウィスコンシン・ヘルドのヘッドコーチに就任した。アトランタ・ホークスのスカウト、ウェストチェスター・ニックスのアシスタントコーチ、ニューオーリンズ・ペリカンズの選手育成コーチを歴任したウドリ氏は、NBAで13シーズンプレーしながら、サンアントニオ・スパーズで2度のNBA優勝(2005年と2007年)を果たしたことで知られている。

●**クライミング:世界選手権で2個目の金メダルを獲得、オリンピック出場を決める【11日】**

スポーツクライミングのスター、ガルンブレット選手が、スイスのベルンで開催されたクライミング世界選手権の女子コンバインド(ボルダリングとリード)で金メダルを獲得。ボルダリングとコンバインドで金メダル、リードで銀メダルを獲得したことで、彼女は世界選手権の絶対的な勝者となった。この成績により、2024年パリ五輪への出場権を獲得した。

●**自転車:ブエルタ・ア・ブルゴスで勝利【19日】**

自転車ツールのブエルタ・ア・ブルゴスで、スロベニア人ライダーのログリッチ選手が第5ステージを制し、総合優勝を飾った。期待のかかっていたイギリスのイェーツ選手は総合3位、ロシアのブラソフ選手が首位から39秒遅れの2位でフィニッシュした。

●**セーリング:世界選手権で銀メダル【19日】**

オランダのハーグで開催された2023年セーリング世界選手権において、スロベニアのヴォディシェック選手が男子フォーミュラカイト種目で銀メダルを獲得した。金メダルは、シンガポールのメーダー選手。18日、ヴォディシェックは来年のパリ五輪でのスロベニア代表の出場権を獲得した。

●**円盤投げ:世界陸上で銀メダル【21日】**

世界陸上選手権男子円盤投げにおいて、スロベニアのチェフ選手が最終ラウンドで70.02メートルを投げ、銀メダルを獲得した。金メダルは71.46メートルの世界新記録を樹立したスウェーデン人シュタル選手。最後の一投で決着がついたエキサイティングな最終戦であった。彼は、スロベニアにとって世界陸上で7個目のメダルを獲得している。

●**フリーダイビング:コンスタント・モノ・フィンで世界タイトル防衛【22日】**

スロベニアのフリーダイバーのアートニク選手が、ホンジュラスで開催された世界大会で優勝、女子コンスタント・ウェイト・モノフィンの世界チャンピオンのタイトルを防衛した。41歳の彼女は、7月末にバハマで開催された女子コンスタント・ウェイト・バイフィンで2度の世界新記録を樹立しており、2度目は水深111メートルにまで到達した。

●**新体操:世界選手権のリボンで銅メダルを死守【25日】**

スペインのバレンシアで開催された第40回FIG新体操世界選手権において、ヴェデネエワ選手が、リボン種目で銅メダルを獲得、昨年獲得した銅メダルを防衛した。彼女は2024年夏季五輪の予選を兼ねた総合競技で5位となり、スロベニア代表としてパリオリ

ピックの出場権を獲得した。フープとボールの両種目では惜しくも6位に入賞となった。

●**射撃:世界新記録で世界チャンピオンに【27日】**

過去の五輪大会での金メダル獲得から20年以上を経て、スロベニアのベテラン射撃選手であるデベベッツ選手が、国際スポーツ射撃世界選手権の300メートルライフル伏射競技で、世界新記録となる600点満点で優勝、予想外のキャリアのハイライトを達成した。デベベッツは、スロベニアで最も成功した選手の一人であり、3つの五輪メダルを保持している。

【生活・科学技術・その他】

●**調査によると、10代前の子どもたちがオンライン・ポルノにアクセス【3日】**

インターネット安全啓発プロジェクト『Safe.si』が実施した調査によると、小学生の44%、中学生の62%がオンラインでポルノを閲覧した経験があるという。ティーンエイジャーの3人に1人は9歳から11歳の間に、8%は6歳から9歳の間に、6%は6歳以前にポルノに出会っている。Safe.siは、このようなコンテンツに早くから触れることは、子どもたちの性に対する理解に悪影響を与え、将来の人間関係における問題につながる可能性があるとして指摘している。

●**国内唯一のペロドロームが修復され、間もなく再開予定【3日】**

南東部ノボ・メスト近郊のチェシュチャ・ヴァスにあるスロベニア唯一のペロドロームは、今年1月に雪の重みでエアドームカバーが崩壊した。ペロドロームの運営者は、間もなくトレーニングを再開できると発表した。また、地元当局によれば、将来的にオリンピック・トレーニングセンターを設立することを目的として、競技場の隣にプールを建設中である。

●**スロベニア全土で利用可能な鉄道乗車券が発売開始【11日】**

スロベニア国鉄は、20キロメートル以上の長距離列車に乗車する際に利用できる1か月券と年間乗車券の発売を開始した。月間乗車券は65ユーロ、年間乗車券は520ユーロで、6月1日から導入された電車とバスのシングル乗車券より5%安くなる。

●**青年協議会、住宅問題に警告【11日】**

スロベニア青年協議会は、国際青年デーを前に、政府による青年問題への取り組みを歓迎しつつも、具体的な行動、特に住宅問題の解決を求めた。青年協議会の国際協力担当副代表であるジガ・チグラリチ氏は、スロベニアでは15歳から29歳の若者の数が減少しており、今年、その年齢の人口割合は14.8%に低下、1991年と比較して7.8ポイントの減少

となったことにも言及した。EU平均は16.2%である。

●山岳救助隊がハイカーに安全アピールを発表【12日】

年中無休で活動しているスロベニアの警察空挺部隊は、ハイカーや登山家に対し、慎重にルートを選ぶよう警告した。クラン警察署はプレスリリースで、「山岳救助活動の回数は急速に洪水前の水準に戻りつつあるが、8月中も猛烈なペースになることを示している」と述べるとともに、山岳での取締りを強化することを発表した。

●スロベニアの学生が世界最高の天文学者に【20日】

スロベニアの中学生、ピーター・アンドルシエクさんが、第16回国際天文学・天体物理学オリンピックにおける総合優勝に輝き、世界最高の若手天文学者となった。「アンドルシエクさんは最高の中の最高。総合優勝はもちろんのこと、3つの部門のうち2つ、天体観測と天体データの分析で優勝した」とリュブリャナ数学物理学部の担当者は報道に対して述べた。

スロベニア日本国大使館

電話: +386-1-200-8281又は8282、Fax: +386-1-251-1822、Email:info@s2.mofa.go.jp

Web:http://www.si.emb-japan.go.jp/website_jp/index_j.html

●本資料は、スロベニアに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。新たに配信を希望される方、あるいは今後配信を希望されない方は、以下のメールアドレスにご連絡ください。

info@s2.mofa.go.jp

★在スロベニア日本国大使館のフェイスブックもご覧ください！

スロベニアにおける日本の外交活動、文化行事のお知らせ等の情報を随時発信しております。

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia>

★スロベニア人向けニュースレター「Living in Japan」のご紹介

当館では、毎月スロベニア人向けに日本紹介のニュースレター「Living in Japan (Življenje na Japonskem)」をスロベニア語で発信しています。今年は各都道府県に焦点を当て、各地の歴史・産業・観光・物産品等を紹介してまいります。このニュースレターは当館のホームページでも公開しておりますので、どうぞご覧下さい。

https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_si/zivljenje_na_japonskem.html

【領事班からのお知らせ】

●旅券手数料のオンライン決済について(電子申請のみ)

7月10日から、旅券の申請をオンラインで申請した方については、領事手数料のオンライン決済(クレジット/デビットカード)が可能となりました。詳しくは、以下のリンク先をご確認ください。

当館HP: https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00784.html

●パスポートのオンライン申請と申請手続きの一部変更

3月27日(月)からパスポートの手続きの一部がオンラインで申請可能となっています。オンライン申請に際しては、在留届が「電子届出化」されている必要があります。また、3月27日から、パスポートの申請に必要な書類などが一部変更されています。詳しくは以下のリンク先をご確認ください。

当館 HP: https://www.si.emb-japan.go.jp/itpr_ja/11_000001_00740.html

●海外に住んでいる人が、外国にいながら国政選挙に投票できる制度を「在外選挙制度」といい、これによる投票を「在外投票」といいます。在外投票ができるのは、日本国籍を持つ18歳以上の有権者で、在外選挙人名簿に登録され、在外選挙人証を持っている人です。在外選挙人証の申請から受け取りまでには通常2か月程度の期間を要しますので、早めの申請を行ってください。

●スロベニアに90日以上滞在される方は、在留届を提出してください。また、住所・連絡先の変更、同居家族の追加など、提出済み在留届の記載事項に変更が生じた場合は「変更届」を、帰国や当館管轄地域外へ転出する場合は「帰国・転出届」を必ずご提出ください。

特に、当館からの重要な連絡が確実に皆様が届くよう、Eメールアドレスや携帯電話番号の変更は速やかに届出をお願いいたします。

【外務省オンライン在留届】: <http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>

●当地での在留許可取得や在留許可延長手続の際に必要な警察(犯罪経歴)証明については、申請から交付までに約2～3か月かかります。お手続きに必要な期間をあらかじめ考慮していただき、余裕を持って申請を行っていただくようお願いいたします。

【参考情報】

1. 外務省海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/>

2. たびレジ簡易登録

本サービスは、メールアドレスとメール配信を希望する国・地域を選択するだけで、当該在外公館から領事メールを受信することが出来ます。ぜひご利用下さい。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/register>

【広報文化班からのお知らせ】

●殺陣アクションデモンストレーション開催

「五感で感じるナンバーバル殺陣パフォーマンス」をテーマに映画・舞台他、世界各国でも活躍している『刀屋壺』メンバーを招き、ライブパフォーマンスを開催します。貴重な機会です。是非足をお運びください(全日程入場無料)



○9月13日(水)7時半頃(予定):スロベニア国営放送 Dobro Jutro 出演

○9月13日(水)18時開演、於スロベン・グラデツ市高校スポーツホール

○9月14日(木)18時開演、於リュブリャナ市ツァンカリエ・ドム・Kosovel ホール

○9月15日(金)17時開演。於コチェウイエ市高校横広場(雨天中止)

●Speculum Artium Festival in Trbovlje に参加します

トウルボウリエで開催される、ニューメディア文化フェスティバル「Speculum Artium」に於いて、日本のメディアアートやロボット技術等を紹介するための Japan Video Topics 上映を実施し、科学技術に特化した日本への留学紹介等を会場で行います。フェスティバル開催日程等は以下のとおりです。

○日時:9月20日～23日、毎日9時～20時(最終日は18時終了)

○場所:Delavski dom Trbovlje (Trg svobode 11a, 1420 Trbovlje)

●スロベニア語字幕付 Japan Video Topics 配信中

当館 YouTube チャンネルにおいて、日本の文化や技術を紹介する Japan Video Topics のスロベニア語字幕版(英語音声)を配信しております。

[Embassy of Japan in Slovenia – YouTube](#)

●最新情報は、当館フェイスブックでチェック！

<https://www.facebook.com/Embassy.of.Japan.in.Slovenia/>